

「スマートファクトリー最前線!~IoTで進化するものづくり現場」

開催期日：平成30年 2月 22日(木)

申込締切：平成30年 2月 15日(木)

近年、スマートファクトリー実現への取り組みが加速しています。センサや機械装置のIoT（モノのインターネット）化は急速に進み、製造業向けに多くのIoTプラットフォームが誕生してきています。また、経済産業省も産業界向けに「Connected Industries」という様々なつながりによる新たな付加価値の創出を推進しています。この動向に後押しされる形で実際の製造現場においてIoTやそのプラットフォーム、あるいは新しい技術である人工知能を活用し、生産性の効率化を実現する取り組みも聞かれるようになってきました。本講習会では、スマートファクトリーを推進している大学・業界団体・企業のリーダーを講師にお招きし、その動向から最新事例まで幅広くご紹介いただけます。製造ラインの改革を検討している生産技術者、IoTに興味のある若手技術者、未来の工場を模索しているご担当者など、多くの方々のご参加をお待ちしております。

日 時：平成30年2月22日（木）10時00分～17時10分

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟4階416室（〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1）

* 参宮橋駅（小田急線）下車徒歩約7分、

* 代々木公園駅（地下鉄千代田線）下車徒歩約10分

* 会場 URL: <http://nyc.niye.go.jp/train/>

司 会：高口順一(ベッコフオートメーション(株))、水上雅人(室蘭工大)、芳賀 崇(株ニュースダイジェスト社)、菅 洋志(千葉工大)

次 第：(予 定)

時 間	題 目	内 容	講 師
10:00~10:05	挨拶		
10:05~11:05	データを介してつながる工場が未来を創る	インダストリー4.0 がものづくりの環境を大きく変え、データのもつ価値とその位置づけが大きく変化しつつある。ビジネスの重心がモノからコトへ、そしてそれらを代替するデータへ移る中で、日本のものづくりの目指す姿を模索する。	法政大学 / IVI 理事長 教授 西岡 靖之
11:05~12:05	IoTベンダのアライアンス動向から見極める失敗しないIoTプラットフォームの選び方	GEのPredix, シーメンスのMindsphereなど、IoTプラットフォームがIoT導入の成否を決めると言っても過言ではない。各社のアライアンスを俯瞰して、ベンダの狙い、オープン・クローズ戦略から選択すべきベンダの見極め方を説明する。	株式会社フロンティアワン 代表取締役 鍋野 敬一郎
12:05~13:10	昼 食		
13:10~14:05	IoTで変革する社会とモノづくり～日立の取組み事例の紹介～	IoTの導入においては、すべての課題を同時に解決しようとするのではなく、モノとモノが繋がった時にメリットが生まれる可能性がある業務シナリオをベースに、現状の課題とあるべき姿を定義し、解決策を構築していくべきである。日立製作所の取組みを紹介する。	株式会社日立製作所 IoT推進本部 担当本部長 堀水 修
14:05~15:00	Deep Learning 技術による製造プロセスの進化	Deep Learning 技術の進歩により製造業においても製造プロセスの変革が起きている。従来は人手に頼らざるをえないプロセスにおいてもDeep Learning 技術を用いることで高品質化・自動化が可能となりはじめている。今回はその取り組みを紹介する。	株式会社フジクラ 先端技術総合研究所 AI チームリーダー 柏木 正浩
15:00~15:20	休 憩		
15:20~16:15	労働人口減に対応した中小企業用「IoTツール」の構築	迫り来る労働人口減少は、中小企業にとって深刻な課題になっている。当社は、平成28年度 経済産業省「スマート工場実証事業」において、中小企業用の「IoT ツール」を構築した。講演では、その対応策、人型ロボット+Watson, VR+人工知能の活用、IoM等について紹介する。	小島プレス工業株式会社 総務部 参事 兼子 邦彦
16:15~17:10	YKK 一貫生産思想に基づくIoT活用	YKK は最適な材料から設備までを自社開発する「一貫生産思想」を進化させるため、設備総合効率の運用・展開を中心に、世界中の工場の生産設備データを統合して活用している。そのIoTモデル構築の取り組みを紹介する。	YKK 株式会社 取締役副社長 大谷 渡
17:20~18:50	名刺交換会 交流会（参加費無料）		

主催：公益社団法人 精密工学会 企画：事業部企画第2グループ

協賛（予定）：SME日本支部/応用物理学会/大田区産業振興協会/型技術協会/計測自動制御学会/研削砥石工業会/研磨布紙協会/自動車技術会/全日本プラスチック製品工業連合会/素形材センター/ダイヤモンド工業協会/電気加工学会/電子情報通信学会/砥粒加工学会/日本オプトメカトロニクス協会/日本MID協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本機械工具工業会/日本木型工業会/日本金属学会/日本金属プレス工業協会/日本光学測定機工業会/日本工作機械工業会/日本合成樹脂技術協会/日本材料学会/日本精密機械工業会/日本セラミックス協会/日本塑性加工学会/日本鍛造協会/日本ロボット学会/プラスチック成形加工学会 ***協賛団体にご所属の方は会員価格にてご参加いただけます。**

定 員：80名（先着順で定員になり次第締切ります）

参加費：会 員（賛助会員および協賛団体会員を含む）22,000円、学生会員2,000円、非会員36,000円、学生非会員7,000円

【会員・学生会員・非会員・学生非会員とも講習会テキスト代含む】 *参加費・講習会テキスト代とも消費税を含みます。

***賛助会員参加無料券をお持ちの方は是非ご利用下さい。**

資 料：講習会テキストのみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊5,000円

申込方法：ホームページ (https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai_form.html) からお申込み下さい。

申 込 先：公益社団法人 精密工学会（〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F、電話03-5226-5191、Fax03-5226-5192）